



ナミビア通信

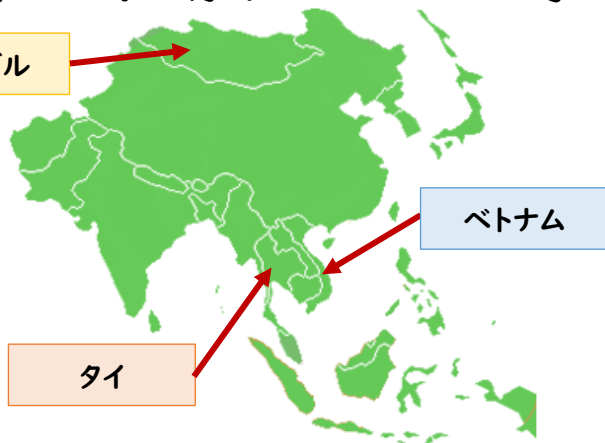
JICA 青年海外協力隊
2023 年度 I 次隊
エロンゴサ小学校
吉野 葵
2025 年 1 月 第 24 号

平山小学校のみなさん、こんにちは。ナミビアの小学校で先生をしている吉野です。

今日は、前回に引き続き JICA 海外協力隊としてナミビア以外の国で活動している仲間の活動を紹介します。今回はアジア編です。(ちなみに JICA 海外協力隊は、アジア、アフリカ以外に、中東、中南米、オセアニアの島国などにも派遣されています。)

世界中で活動する JICA 海外協力隊 (アジア編)

モンゴル



ベトナム

タイ

- ① 名前 (なまえ)
- ② 国名
- ③ 職種 (専門分野)
- ④ 主な活動内容
- ⑤ 活動の中で嬉しかったこと (やり甲斐を感じたこと)

① 笹原 理司 (ささはら たかし)

② モンゴル国

③ 理学療法士



④ 病院で理学療法士として怪我や病気になった患者さんが元の生活に戻れたり、生きがいを
感じられたりするようになるためにリハビリをしています。また、高齢者に向けた健康教室の
手伝いや講師もしています。その他、同僚に日本の理学療法を紹介したり、モンゴルの理学
療法士が勉強するための資料作成やセミナーの講師をしたりもしています。

⑤ モンゴルの病院では病気の後に適切な治療を受けることが出来ず、腕や脚が動かなくなっ
たり、寝たきりになってしまったりする患者さんがたくさんいます。そんな患者さんが私との
リハビリを通して身体が動くようになり、元気を取り戻して「ありがとう」と言って退院してい
く姿を見ると、「モンゴルに来て良かったな」と実感します。

① 松葉 遥花 (まつば ようか)

② ベトナム^{しゃかいしゅぎきょうわこく}社会主義共和国

③ 青少年^{せいしょうねん}活動



④ 毎週日曜日の午前中に、日本でいう公民館^{こうみんかん}みたいな場所で日本語クラブを実施しています。初級^{しよきゅう}クラス(平仮名^{ひらがな}学習中/小学生)と上級^{じょうきゅう}クラス(平仮名^{ひらがな}習得済/小学校高学年~中学生)です。クラブは日本語専門高校の学生に通訳^{とくずみ}をしてもらい、実施しています。また高校生^{こうがくねん}に対して、スピーチコンテストの指導^{しどう}や、個別^{こべつ}レッスンも行っています。

⑤ 夏休みには、隊員^{たいえい}の仲間と協力^{きょうりよく}し、日本料理教室^{にっぽんりょうり}として海苔巻きづくりと納豆試食会^{のりまなっとうししょくかい}をしました。この時は普段の授業と異なり、グループ活動をしたので、生徒たちが日本人と近い距離感^{きょり}で長時間交流^{ちやうじかんこうりゆう}できました。子供達も自発的に協力^{きょうりよく}してくれた隊員^{たいえい}たちへ手紙^{てがみ}を書いたきたので、とても嬉しく思いました。納豆^{なっとう}は一粒^{ひとつぶ}だけなら食べられる子は半数^{はんすう}いました。

① 熊谷 優季 (くまがい ゆうき)

② タイ王国^{おうこく}

③ 公衆衛生^{こうしゅうえいせい}



④ 高齢化^{かうれい化}の特に 著^ししいタイ北部地域^{ほくぶちいき}にて、高齢者コミュニティ^{かうれいしや}の支援^{しえん}をメインに活動しています。主に、エクササイズやアクティビティ、フレイル^{ふれい}予防^{よぼう}と呼ばれる、「イキイキ健康に生きていくためには?」という観点^{かんてん}から、村のおじいちゃんおばあちゃん達と一緒^{いっしょ}に元気に暮らそう!^{もくてき}を目的に日々生活を送っています。

⑤ 他の業務^{ほかぎょうむ}がありコミュニティ活動に参加^{さんか}できなかった際、次に会った機会^{さいつぎあきかい}に「来てくれなくてとってもさみしかった。」と言われ、自分^{じぶん}がいるだけで 幸^{しあわ}せに思ってくれる人^{ひと}がたくさんいてくれるんだ。と逆^{ぎやく}に元気をもらっているからこそ、心からの感謝^{しゃん}を感じたときがとっても嬉しかったです。

興味^{きょうみ}のある国や仕事^{しごと}はありましたか? 他にも色々な国や職種^{いろいろう}で活動している隊員^{たいえい}がいます。もっと知りたいことがあったら、ぜひ「質問^{しつもん}フォーム」でコメントを送ってくださいね!

ホームページ
上では公開を
控えさせてい
たきます。